

令和2年度「親の育ち」子育てネットワーカー養成講座

開催日：令和2年9月24日（木）、30日（水）、10月6日（火）
会場：愛知県西三河総合庁舎 大会議室、701会議室

本年度の家庭教育支援者養成講座（子育てネットワーカー養成講座）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して1会場のみで開催しました。

○ 講座の内容

講座	開催日	内 容
1	9月24日 （木）	講座1：児童期の子どもの特徴と保護者への支援 講師：愛知教育大学 教授 野平 慎二 氏
2		講座2：乳幼児の子どもの特徴と保護者への支援 講師：NPO法人子育て支援を考える会TOKOTOKO 理事長 坂 鏡子 氏
3	9月30日 （水）	講座3：地域における子育てネットワーカーとして家庭教育支援について 講師：子育てネットワーカー 志村 貴子 氏
4		講座4：思春期の子どもと体の不思議 講師：愛知教育大学 准教授 高橋 靖子 氏
5	10月6日 （火）	講座5：実践！みんなのネットモラル塾 ～正しい知識を身につけよう～ 講師：ネットモラル塾事務局より派遣
6		講座6：子どもも大人も幸せを感じる保育・子育て 講師：名古屋学芸大学 教授 渡辺 桜 氏

☆ 講座1 「児童期の子どもの特徴と保護者への支援」

社会情勢やさまざまな統計結果などを基に、親子関係、友達関係、学校生活、ネット社会とのかかわりなど、児童期の現状について講義いただきました。その中で、「叱ること」と「怒ること」の違いをわかりやすく説明されました。また、子育てネットワーカーとしての保護者への支援のあり方について、「あなたを受け止めていますよという気持ちを大切に、聴くことに徹したい」など貴重な助言をいただきました。



☆ 講座2 「乳幼児の子どもの特徴と保護者への支援」

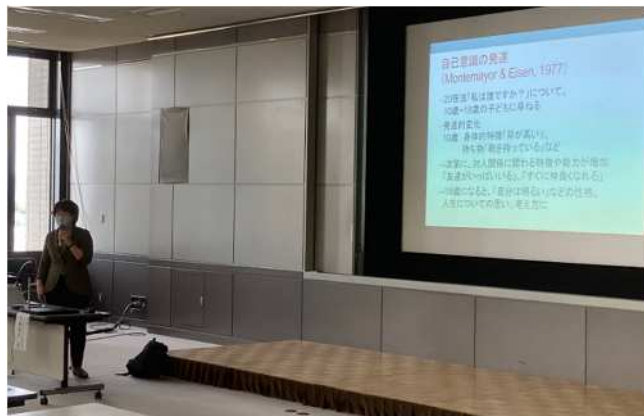
子供とのかかわりの中で感じたことや元保育園の園長としての取組など、豊富な経験に基づき、乳幼児期の子供の特徴について説得力ある話をしていただきました。「子育てに正解はあってないもの。なぜなら、関係性だから。自分なりの（子供との）関係性を見つけていくしかない」という言葉が印象的でした。

☆ 講座3 「地域における子育てネットワーカーとして家庭教育支援について」

子育てネットワーカーとしての子供や保護者との関係づくりの方法、支援の進め方について、参加者の経験談を引き出しながら、また、折り紙を使ったもみじづくりなどの体験活動を取り入れながら楽しく学びました。志村先生のユーモアあふれる語り、参加者の話を共感的に聞く姿勢に、会場が温かい雰囲気になりました。

☆ 講座4 「思春期の子ども心と体の不思議」

思春期の子供の特徴を医学的な視点、心理学的な視点、社会的な視点などから説明していただきました。思春期の子供の特徴をとらえたうえで、親としてどのように向き合っていくべきか、また、支援者としてどうかかわっていくべきかを教えていただきました。「完璧な親よりもほどほどの親」のメッセージが参考になりました。



☆ 講座5 「実践！みんなのネットモラル塾 ～正しい知識を身につけよう～」

子供達に起こりうるネットによる様々なトラブルについて、具体的な事例を出しながらわかりやすく説明していただきました。子供にスマートフォンやネットを使用させるにあたって、保護者として心がけるべきこととして、親子でしっかりと話し合うこと、約束事を決めることなど、いくつも重要なポイントを教えていただきました。



☆ 講座6 「子どもも大人も幸せを感じる保育・子育て」

幼児期の子供が安心して楽しみながら遊び、成長するための支援のあり方を保育現場の映像を基にわかりやすく解説していただきました。まねしたくなるモデルの存在やリズム感を意識すること、環境を整えることなどの大切さを、映像の中の保護者や子供の言動に基づいて説明され、納得しながら理解を深めることができました。

○ 参加者の声

- ・毎回、学びが多い講座でとても楽しみにしている。
- ・一つ一つの講座がとてもわかりやすく、内容が深いものだった。
- ・講座内容が大まかな年齢に分かれているので、それぞれの発達を改めて知ることができ、とても有意義な時間となった。
- ・初めて参加した。どの先生からも「支援」を中心に話があったので、わかりやすく、聞いていて話の光景も思い浮かぶようだった。普段の自分の支援活動に当てはめ、「これでよいのだ」、「これは取り入れていこう」と思うことがあった。



新型コロナウイルス感染症拡大の懸念もあり、参加者が20名でしたが、少ないが故に講師の先生方との距離が縮まり、参加者からの質問にも気軽に、また丁寧に答えていただき、和やかな雰囲気の中で講座が行われました。